



平成 28 年 2 月 12 日

各 位

会 社 名 豊 商 事 株 式 会 社
 代表者の役職名 代表取締役社長 安 成 政 文
 (J A S D A Q ・ コード番号 8 7 4 7)
 問 合 せ 先 専務取締役管理本部長 多々良 孝之
 電 話 番 号 (0 3) 3 6 6 7 - 5 2 1 1

平成 28 年 3 月期第 3 四半期累計期間の連結業績見込みに関するお知らせ

平成 28 年 3 月期第 3 四半期累計期間（平成 27 年 4 月 1 日～平成 27 年 12 月 31 日）の連結業績につきましては現在集計中ですが、決算の概要がまとまりましたので速報値としてお知らせいたしますとともに、前年同期実績と比較して差異が生じる見込みですので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 28 年 3 月期第 3 四半期累計期間の業績速報値及び業績の差異

連結

(単位：百万円)

| | 営業収益 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 |
|--|-------|------|------|--------------------------|
| 当第 3 四半期連結累計期間速報値 (平成 28 年 3 月期第 3 四半期累計期間) (A) | 3,595 | 317 | 351 | 689 |
| 前 年 同 期 実 績 (平成 27 年 3 月期第 3 四半期累計期間) (B) | 3,549 | 351 | 364 | 312 |
| 増 減 額 (A - B) | 46 | △33 | △12 | 376 |
| 増 減 率 (%) | 1.3 | △9.5 | △3.4 | 120.4 |
| (参考) 平成 27 年 3 月期実績 | 4,772 | 488 | 518 | 193 |

2. 差異が生じた理由

連結業績見込み

当第 3 四半期連結累計期間（平成 27 年 4 月 1 日～平成 27 年 12 月 31 日）においては、デフレからの脱却と、持続的な社会保障制度の確立を政策課題とし、日本銀行による大胆な金融政策の導入、社会保障と税の一体改革の関連法案の成立など、具体的な施策の取組が進み、景気は緩やかな回復基調となりました。一方、世界経済は、米国 F R B (米連邦準備制度理事会) が 9 年半ぶりに政策金利を引上げ、7 年に及ぶゼロ金利政策を解除し、米国主導の景気回復が期待されているものの、中国経済の先行き不透明感や中東における地政学的リスクの影響による原油安等の問題点が顕在化し、失速が懸念される状況となっておりますが、商品先物取引の総売買高は 1,533 千枚(前年同期比 74.0%増)及び金融商品取引等の総売買高は 2,582 千枚(前年同期比 55.4%増)となり、受取手数料は 3,322 百万円(前年同期比 2.8%増)、売買損益は 263 百万円の利益(前年同期比 6.8%減)となり、営業収益は 3,595 百万円(前年同期比 1.3%増)、経常利益は 351 百万円(前年同期比 3.4%減)となり、固定資産の譲渡等による特別利益 560 百万円及び訴訟損失引当金繰入額による特別損失 108 百万円を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は、689 百万円(前年同期比 120.4%増)になる見込みであります。

以 上